

鶴岡工業高等専門学校	一般科目	開講年度	平成20年度 (2008年度)
------------	------	------	-----------------

学科到達目標

総合科学科は、国語・英語・ドイツ語・数学・理科・社会・芸術・保健体育等の、広い分野へわたる教科を担当する教員の組織です。高専卒業後、国際社会に通用する創造的技術者として自由自在に活躍するためには、学生一人一人が正確で幅広い知識と豊かな教養を身に付け、人間性を高める必要があります。総合科学科教員は、新たな知識を得ることを喜び、他者と異文化を尊ぶ姿勢を持つ、情操豊かで健全な市民の育成を目指します。

総合科学科が担当する授業は、一般教養科目と基礎専門科目から成り立っており、本校全学科の学生を対象とする必修科目です。一般教養科目は、生き生きとした国際感覚を持ち、他者としっかりとコミュニケーションし、物事の本質を見極める眼をもつ学生の育成を目指す科目です。学習内容は幅が広く、高等学校の授業に準じた内容の授業から、大学の教養科目に準ずる内容の授業に及びます。基礎専門科目は、応用数学と応用物理です。全学科に共通する問題に対処できる基礎能力の育成を目指す科目です。また5年生対象の「共通選択・一般科目」や専攻科学生対象の「共通一般科目」も担当しています。なお、総合科学科教員は、全学科1・2年生の学級担任を受け持っており、本校の人間教育の最も重要な部分を担っております。

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			1	2	3	4
一般	必修	保健体育(3年)	0021	履修単位	2	2																			松橋 将太		

松橋 将太

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成20年度 (2008年度)		授業科目	保健体育(3年)	
科目基礎情報							
科目番号	0021		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	一般科目		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	Activesports						
担当教員	松橋 将太						
到達目標							
1集団の中で相手を理解し、目標達成のためのコミュニケーションが図れる。 2自己の能力に応じて運動技能や課題達成へむけた取り組みができる。 3運動を行う環境に対して安全配慮ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ルール・マナーに高い意識を持ち、自身の長所を発揮して、集団の勢いの向上につなげることができる。		ルールやマナーを守り、自身の持つ能力を発揮できる。		ルール・マナーに対する意識が低く、自身の能力発揮の意識が低い。	
評価項目2		相手の意見を聞き、自身の意見を伝え、協力・協調関係を積極的に構築することができる。		相手の話を理解し、互いの協力・協調関係に参画意欲を示すことができる。		相手との協力・協調関係構築のための意思疎通を図ろうとしない。	
評価項目3		用具や施設を正しく大切に使用し、周囲にも安全配慮を促すことができる。		用具や施設を正しく使用できる。		用具や施設管理運用をするうえで自身の安全配慮ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		各種目を通じて基本的な技術を習得し、ゲームで活かすことができる。 集団内における自身の役割と責任を自覚し、他者と協力して各種目を実行できる。 他者とのより良い関係性の構築や自己の生活環境の向上に取り組むことができる。					
授業の進め方・方法		適時種目内容に応じて適切な施設、用具、服装を使用して、毎時間の目標に沿った形で進めることとする。					
注意点		実技について ・各種目毎に、それぞれの競技特性に応じた観点からスキル評価を行い、点数化する。 学期内に取り組んだ種目数が複数の場合、それぞれの点数の合計を種目数で割り、実技店とする。 ※校内体育大会（6時間）は体育授業時数として扱うこととする。					
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・各競技（サッカー／ソフトボール、バドミントン／バスケットボール、バレーボール／ソフトバレー、長距離／卓球）意義と特性を理解する			・各種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。	
		2週	・基礎スキル練習を実行する			・仲間と協力して行動できる。	
		3週	・基礎スキル練習を実行する			・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。	
		4週	・試合を行う			・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。	
		5週	・試合を行う			・自身の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。	
		6週	・バスケットボール競技の意義と特性を理解する			・バスケットボールのルールを守り、安全な環境設営ができる。	
		7週	・基礎スキル練習を実行する			・仲間と協力して行動できる。	
		8週	・基礎スキル練習を実行する			・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。	
	2ndQ	9週	・試合を行う			・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。	
		10週	・試合を行う			・自身の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。	
		11週	・ソフトボール競技の意義と特性を理解する			・ソフトボールのルールを守り、安全な環境設営ができる。	
		12週	・基礎スキル練習を実行する			・仲間と協力して行動できる。	
		13週	・基礎スキル練習を実行する			・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。	
		14週	・試合を行う			・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。	
		15週	・試合を行う			・自己の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。	
		16週					
後期	3rdQ	1週	・サッカー競技の意義と特性を理解する			・サッカーのルールを守り、安全な環境設営ができる。	
		2週	・基礎スキル練習を実行する			・仲間と協力して行動できる。	
		3週	・基礎スキル練習を実行する			・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。	

		4週	・試合を行う	・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。
		5週	・試合を行う	・自己の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。
		6週	・バレーボール／ソフトバレー競技の意義と特性を理解する	・バレーボール／ソフトバレーのルールを守り、安全な環境設営ができる。
		7週	・基礎スキル練習を実行する	・仲間と協力して行動できる。
		8週	・基礎スキル練習を実行する	・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。
	4thQ	9週	・試合を行う	・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。
		10週	・試合を行う	・自己の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。
		11週	・バドミントン／卓球競技の意義と特性を理解する	・バドミントン／卓球のルールを守り、安全な環境設営ができる。
		12週	・基礎スキル練習を実行する	・仲間と協力して行動できる。
		13週	・基礎スキル練習を実行する	・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。
		14週	・試合を行う	・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。
		15週	・試合を行う	・自己の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	50	0	50	100
基礎的能力	0	0	0	20	0	50	70
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	30	0	0	30